

# ゴ 5 ミ 3 ゼロ 0 レポート

第54号

2012年3月31日 発行

編集と発行 530運動環境協議会

〔豊橋市今橋町1番地 豊橋市役所環境政策課内 電話(0532)51-2414〕

〔URL <http://www.530.toyohashi.aichi.jp> E-mail 530@city.toyohashi.lg.jp〕



530運動環境協議会では2月の省エネ月間にあわせて、豊橋市公会堂で環境市民省エネ大集会を開催しました。環境市民省エネ大集会では、「生ごみ減量クッキングコンクール」の表彰式と「劇団すぎのこ」による環境教育人形劇「とべ!ドードー」を上演し、約270人の家族連れが集まりました。劇を見に来てくれた子どもたちに環境問題と楽しい思い出を結び付けてもらえたら、将来環境意識が高い大人へと成長してくれると思います。

今回のレポートでは、本協議会の平成23年10月からの主な活動について紹介します。

## 530会員募集のお知らせ

530運動環境協議会は、環境美化活動から省資源・省エネルギー、環境教育など、今後も様々な取り組みを行い、ごみがゼロになる社会を目指します。

本協議会では活動に参加・協力していただく会員を募集いたしております。法人・団体会員は1口1万円、個人会員は1口500円、いずれも年会費で1口以上です。申込は協議会事務局窓口のほか、ホームページからもできます。

## 目次

- スポーツGOMI拾い大会in530豊橋……………2
- クリーンアップ大作戦……………2
- No!包装キャンペーン……………3
- 冬の省エネ実施キャンペーン……………3
- 省エネ月間街頭啓発……………3
- 会員紹介コーナー……………4

## スポーツGOMI拾い大会in530豊橋

11月13日(日)に豊橋市では初となる「スポーツGOMI拾い」を開催しました。「スポーツGOMI拾い」とは一般社団法人日本スポーツGOMI拾い連盟代表の馬見塚健一氏が考案し、決められたエリア内でごみを拾い、集めたごみの質と量で換算したポイントを競い合うというものです。

今回は豊橋駅周辺をエリアに設定し、21チーム80人の参加で開催しました。「ゴミ拾いはスポーツだ!」という掛け声で各チームがごみ拾いをスタートしました。1時間の競技を終えて計量した結果、見事優勝したのは愛産協東三河支部Bチーム、準優勝は豊橋市環境部Bチーム、第3位は松山校区老連チームの皆さんでした。全チームで集めたごみの総重量は111.6kgにもなり、普段のクリーンアップ大作戦とは一味違った活動をみなさん楽しんでいただけたようです。



## クリーンアップ大作戦

10月29日(土)に吉前海岸クリーンアップ大作戦、3月3日(土)に高師緑地クリーンアップ大作戦を実施しました。

吉前海岸クリーンアップ大作戦は昨年台風のため中止となってしまいましたが、今年は天候にも恵まれ約140名が参加し、約480kgのごみを回収しました。予想を大きく上回るごみの量に参加した会員のみなさんも驚いていました。

高師緑地クリーンアップ大作戦には約180名が参加し、約130kgのごみを回収しました。今年の冬は寒さが厳しく、この日も冷たい風が吹く中たくさんの方が清掃活動に取り組んでくださいました。



## No!包装キャンペーン

530運動環境協議会では12月に「No!包装キャンペーン」を実施しました。

このキャンペーンは、余分なレジ袋や過剰包装を断ることをきっかけとしてごみ減量について考えてもらうキャンペーンです。

今回の「No!包装キャンペーン」では、「生ごみ減量クッキングコンクール」として料理を工夫することで生ごみを減らす料理のレシピを募集しました。これは、家庭から出る「もやすごみ」のうち、約4割を占める生ごみについて考えることからごみ減量に取り組んでもらうことを目的に実施しました。

レシピの審査には、中部ガス株式会社のエコクッキングインストラクターの方にご協力いただき各賞を決定しました。右の表がその結果です。レシピの内容については紙面の都合上ここには記載できませんでしたが、本協議会のホームページに掲載させていただいておりますので、是非ご覧いただきたいと思ひます。

賞	氏名	料理名
優秀賞	夏目 直実	吟醸豚汁
入選	朝倉 宏恵	なんちゃってマーボ豆腐
	瓜生 幹子	シャキシャキスープ
佳作	大森 実穂	スティックピザ
	林 典子	エコ鍋
	谷内 葵	あまったごはんでライスピザ

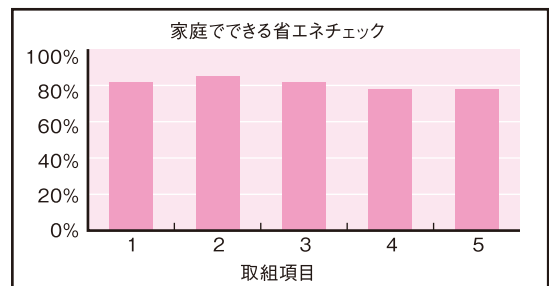
## 冬の省エネ実施キャンペーン

2月の省エネ月間に合わせて行った冬の省エネ実施キャンペーンでは、1ページ目に掲載した「環境市民省エネ大集会」と「家庭でできる省エネチェック」を実施しました。「家庭でできる省エネチェック」では、簡単にできる5項目の省エネに関する取り組みを設けて、家庭での省エネの取り組みについてチェックしてもらいました。これは、チェックすることを通して普段のエネルギーの使い方を見直してもらうために行いました。

「省エネルギー月間」は、1970年代のオイルショックを受け、1977年から始まったものです。様々な資源を輸入に頼っている日本では省エネはとても重要なことです。しかし、無理をしても良い結果にはつながらないので、できる範囲で無理なく省エネを心がけていくことが大切だと思います。

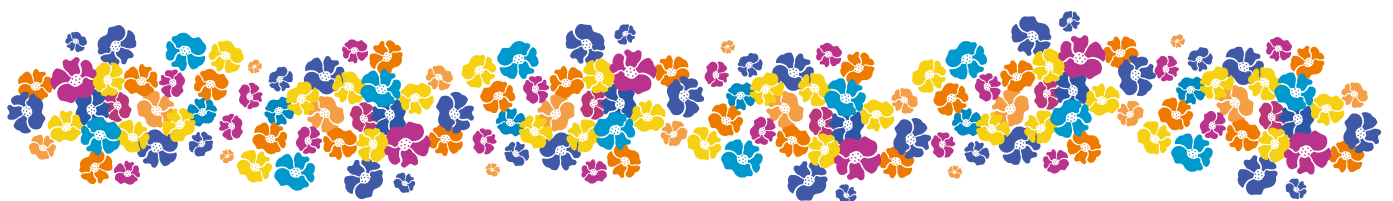
以下に「家庭でできる省エネチェック」の集計結果を掲載します。応募していただいた中には、この取組項目をさらに進めた取り組みをしてくれている方も多く、みなさんの意識の高さを感じました。

No.	取組項目	実施率
1	暖房の設定温度を20℃に設定する	82%
2	電気カーペットや電気こたつの設定温度を低めにする	87%
3	電気ポットを長時間使用しないときはプラグを抜く	83%
4	食器を洗うときはガス給湯器の設定温度を低くする	78%
5	入浴は間隔をあけずに入る	79%



## 省エネ月間街頭啓発

「省エネルギー月間」初日の2月1日(水)に、豊橋駅ペDESTリアンデッキにおいて省エネ街頭啓発を実施し、会員約40人が参加し通勤・通学途中の方に繰り返し何度でも使えるエコカイロを配布しました。



## 会員紹介コーナー

今回は武蔵精密工業株式会社さんと、日東電工株式会社豊橋事業所さんの環境に対する取り組みなどについて紹介します。

### 環境意識の高まりを実感

#### 武蔵精密工業株式会社

当社は、自動車・オートバイに使用されるギヤ、カムシャフト、ボールジョイントなどの金属部品を開発・製造しています。自動車が安全・快適に走るために必要不可欠な部品で、ミクロン単位の高い精度が求められます。精密鍛造技術を中心とした、素材から完成までの一貫生産体制を強みとして、良いものを・早く・低コストでお客様にお届けするために、日々独創的な技術に磨きをかけています。

金属の加工には多くのエネルギーが必要です。当社では、将来に渡って持続可能な社会の発展に貢献するため、環境にやさしいものづくり技術の進化を、最も重要な課題のひとつとして位置付けています。製造工程の省エネ化はもちろん、従来よりも小型・軽量で環境負荷の小さい商品を具現化するため、研究開発の段階から環境を意識したものづくりに取り組んでいます。

当社の530運動は、環境美化、お世話になっている周辺地域への貢献を目的として、毎年春と秋の2回、休日を利用して実施しています。豊橋市にある3つの工場に加え、新城市、三重県鈴鹿市の工場でも活動の主旨に賛同し、工場周辺のゴミ拾いを行っています。参加者は年々増え、現在では500名を越える参加者が集まる全社的事件として認知されるようになりました。OBや従業員の家族も参加し、小さな子供も大活躍しています。近年では、参加者が増える一方で捨てるゴミがなくなってしまうほど環境美化が進み、環境意識の高まりを実感できるようになりました。今後もさらなる環境美化、省エネ意識の向上に貢献できるよう、積極的な活動を継続していきます。



### 産廃削減とリサイクルの推進 ～再資源化センター～

#### 日東電工株式会社 豊橋事業所

日東電工株式会社豊橋事業所は約5千品種の各種粘着テープを製造している事業所で、2012年5月に操業50周年を迎えます。

当社では1980年代より産廃減少活動を実施しており、1999年よりゼロエミッション(埋め立て処分ゼロ)を目指す事業所運動「ゴミゼロ運動」を展開。2001年3月にはゼロエミッションを達成しました。更に、産業廃棄物の半減を目標に産廃削減および再資源化を進め、2005年11月、環境大臣より産業廃棄物の広域処理認定制度の認可を得て、お客様が使用済みの当社製品の回収と再資源化を専門に扱う組織として「再資源化センター」を設立しました。

「再資源化センター」では、お客様から回収した使用済みの当社製品及び、事業所の各建屋で発生した廃棄物を収集し、再製品化等の再資源化加工を行っており、当社製品の材料やテープ芯材として再活用しています。また、再資源化されたものの一部は外部のリサイクル業者にも販売し、クリアファイルなど、多種多様なプラスチック製品に生まれ変わっています。

また当事業所の環境保全活動としては、毎年5月と10月に地元自治会・周辺企業各社と共同で事業所周辺のクリーンアップ活動を実施しており、毎回1トン近いゴミを回収しています。また「梅田川ふれあいクリーン作戦」には第1回より参加しており、ともに多数の従業員が参加しています。

#### ◆再資源化センター

